

クリーンセンターごみ処理施設の建て替え（広域化） についての説明会における質疑概要（第1回）

この概要は、平成 25 年 6 月 26 日（水）平山季重ふれあい館にて開催した説明会における質疑応答・意見についてまとめたものです。

説明会にご参加できない方にも、説明会当日の質疑等の内容をわかりやすくお知らせするために、重複した質問・意見の省略をしていることをご了解ください。

1. 広域化全般について

Q：立川の問題になぜ触れないのか。前市長は単独の公約があったはずである。

A：4 年前に東京都を通じて立川市と共同処理で出来ないかとの話があったことは事実であるが、前市長は白紙に戻すとの決断をし、話はその時点で終わったと理解しています。

Q：広域化を突発的に進めているのでは？

A：平成 24 年 4 月に小金井市、国分寺市から申し出があり、市の内部で検討し、平成 24 年 11 月に内部決定をした後、周辺地域の方々に説明をしました。現在引き続き、周辺地域への説明を続けている状況です。粘り強く説明、努力していき、理解を得られた上で進めていきたいと考えております。

Q：市長の公約に広域化は無いのでは？ゼロからのスタートでは？

A：公約にはごみの共同処理を行うということを謳っており、ゼロからのスタートではありません。ただし、内部決定段階であり、地元説明会を行い理解を頂くという最中の引き継ぎであり、その意味合いでは決定ではないということだが、市としてはそのような立場で行っていきたいということを受け継ぎスタートしています。

Q：広域化による健康への影響はどれくらいなのか？

A：健康への影響はほとんどないと考えています。パンフレット P 3 からの説明にあるように万全の環境対策を図ってまいります。

Q：東京都が広域化を勧めているから広域化をするのか？どこが決めるのか？

A：小金井市、国分寺市から申し出があった後、東京都からも「お願いします」と口頭で話があったことは事実であるが、あくまでも日野市が小金井市、国分寺市と話し合って決めることです。都の要請は補助的な要素でしかないと考えています。

Q：デメリットは何か？

A：交通量の増加がデメリット（心配な点）と考えています。

対策として、搬入ルートの変更、環境にやさしい車の導入を考えています。

Q：小金井・国分寺と日野は離れているが広域処理ができるのか？

A：できます。隣接ではなくても問題ありません。

2. 費用関係について

Q：パンフレットP 5 の費用比較は対象が間違っているのではないかと？

A：5 ページの費用比較（単独処理と広域処理での試算方法）は以下の通りです。

①単独処理（施設規模 146t/日-約 82.0 億円）：平成 20 年度設計額

②広域処理（施設規模 290t/日-約 104.2 億円）：過去 10 年間の落札金額の平均から試算

これまでの説明の中で、市民の皆様から「試算方法がそれぞれ異なるのではないかと」とのご質問をいただいています。

そこで、単独処理時に用いた方法である「平成 20 年度設計額」の考え方を、広域処理時に適用した時の建設費に試算し直した結果を以下に示します。

「広域処理時の建設費 約 123.8 億円」

交付金 約 38.5 億円

日野市 約 40.9 億円

小金井市 約 18.8 億円

国分寺市 約 25.6 億円

[算出方法]

- ・建設コストは「廃棄物処理施設建設工事等の入札・契約の手引き（環境省）」に示されている 0.6 乗比例に係る経験法則に基づく積算方法を参考に、簡易的に単独処理（146 t/日）の建設コストから試算しました。

この算出方法によると、建設費用は 104.2 億円（P5 参照）から **19.6 億円多く要する**結果となりました。日野市が支払う金額としても、約 34.3 億円が約 40.9 億円となり、**6.6 億円多く要する**結果となります。

※上記の場合も負担割合などが決まっていない段階での「試算」であることに留意願います。

今後基本設計を行う中で詳細な設計額の算出及び比較を行います。

※単独と広域化の建設費を比較すれば、広域化の方が施設規模が大きくなることで 1 トンあたりの単価が低減されるので、単独で建設するより、日野市の負担が少なくなります。

Q：建設費（見積額）は最新で比較すべきである。

A：前回の基本設計時のものでお示ししましたが、当然、これからの見直しの際には新しく見積を徴取し、比較検討を行います。

Q：広域化で行うなら、小金井市、国分寺市から、建設費だけでなく、維持管理費も見合っただけのものももらっていただきたい。

A：費用負担の割合については、日野市が 2 市の（ごみ処理の）負担を受ける立場であり、その辺りを踏まえて交渉していくことは考えています。

3. 環境影響について

Q：ストーカ炉の実績はどのくらいか？

A：日本の焼却施設の 8 割近くはストーカ炉です。現在ガス化溶融炉など技術はありますが、今の段階では、信頼性と実績が最もあるのがストーカ炉です。

Q：交通量は 1.8 倍となっているが、3 市になるので 3 倍ではないか？

A：平成 23 年度に実際に稼働している小金井市、国分寺市の可燃ごみ収集車両の台数を調査し、日野市の台数と合算すると 1.8 倍となります。3 倍ではありません。

4. その他

Q：ごみの収集頻度及び時間は変わるのか？

A：若干の変更はあるかもしれませんが、現状とほとんど変わらないものと考えています。

Q：施設計画、生活影響評価の予算を平成 25 年 9 月議会で審議するのか？

A：現時点では平成 25 年 7 月末までには方針の確定をしたいと考えています。順調にいけば、平成 25 年 7 月末にはそのような判断をしていきたいと考えています。

Q：会場撮影禁止の意図は何か？

A：TV が入るとは告知しておらず、人によっては TV ということで緊張する方もいることから、TV 撮影、カメラ撮影について説明会開催中は遠慮いただきました。

Q：売電と交付金の関係はどうか？

A：売電等については、現在高効率発電を考えており、およそ 17%以上の発電効率があれば高効率発電ということになり、新施設ではそのような発電を行い、売電等も考えています。

Q：財政難だというのが、ふれあいホールの建設で 25 億円使っている。副市長の 2 名体制で年間 6,000 万使っている。矛盾していないか？

A：ふれあいホールの建設費は約 20 億円であり、この中で半分は東京都及び国からの補助金が入っています。また、副市長が 1 名増えたことにより任期 4 年間で約 6,000 万増ということです。

5. 意見

- ・日野市単独で進めるべきではないか。
- ・広域化は白紙撤回していただきたい。
- ・前市長時代におけるごみ改革は評価されるべき内容である。
- ・協力して広域で処理することは必要である。広域化で進めてもらいたい。
- ・石田地区は、迷惑施設が集中しており、周辺環境が悪い、雰囲気が悪い。沖縄の基地問題のようなものである。他の地区に作ってもらいたい。
- ・広域化する場合、建設場所は日野市ではなく、小金井市・国分寺市にできないのか？
- ・ごみゼロにすることを前提として、広域化と単独のメリット・デメリットを比較するべきである。提示してほしい。
- ・経常費、運営費が多く必要になると示しているが、根拠が何も示されていない。
- ・排ガスは有害なものが多い。焼却量が増えれば有害なものも増える。ばいじんで真っ黒になる。
- ・大型炉にすることで、高効率発電、発電効率があがるとしているが、3%程度であり、大した差はない。それよりも排ガスが増えるほうが問題である。
- ・環境関連の仕事をしており内情は良く知っている。ダイオキシンの話があったが、こういったデータは良いデータしか出さないことを、皆さんには知っていただきたい。
- ・高温燃焼炉、実績があると言っているが、あきらかに、事故が続出している。
- ・ダイオキシンに対応するには 1,000 度必要である。大型炉では、そのために、大量のごみ、プラスチックが必要になる。
- ・洗濯物を干すと、ばいじんで真っ黒になる話を聞いている。
- ・高温にするためにプラスチックを燃やすと、壁にこびりついて、人の手でとらないといけなくなる。
- ・大型炉は一度止めると、また、動かすのに時間がかかる。
- ・生ごみが入っていると、高温にできない。
- ・大学の先生に聞いたが、高度な排ガス処理設備は、小さな炉でも設置できるとのことである。
- ・ごみ減量計画で、7～8 割のごみを減らすとしている。大型炉を作ったら、燃やすごみがなくなり、他からかき集めることになり、ごみ減量計画と整合性がない。
- ・生ごみの分別や、塩ビの禁止を徹底すればよいではないか。そうすれば、大型の高温燃焼炉は必要ない。
- ・ごみ減量計画に基づいて、ごみを減らして、日野市の身の丈にあった施設を作るべきである。広域化になれば、ごみが増える。